

6.2 生活機能支障の予測

本予測では、生活機能支障予測として「医療機能」、「住機能」、「飲食機能」、「清掃・衛生機能」を対象とし、それぞれについて被害予測を実施する。

6.2.1 医療機能支障の予測

(1) 医療機能支障の予測手法

- ・ 医療機能支障の予測は、内閣府（2013）による手法に準拠して想定する。
- ・ 地域災害拠点病院及び基幹災害拠点病院を対象に、医療機関の施設の損壊、ライフラインの途絶により転院を要する患者数を算出する。
- ・ 新規の入院需要（重傷者数＋医療機関で結果的に亡くなる者＋被災した医療機関からの転院患者数）及び外来需要（軽傷者数）から医療機関の受入れ許容量を差し引いたときの医療対応力不足数を算出する。
- ・ なお、医療機能支障予測は、人的被害が大きい冬 18 時を対象として算出する。

表 6.2-1 医療機能支障予測対象医療施設

施設名	住所	病床数	通常期1日あたりの 外来患者数	備考
鳥取赤十字病院	鳥取県鳥取市尚徳町117	438	661.1	地域災害拠点病院
鳥取県立厚生病院	鳥取県倉吉市東昭和町150	304	512.6	地域災害拠点病院
鳥取大学医学部附属病院	鳥取県米子市西町36-1	697	1,439.9	地域災害拠点病院
鳥取県立中央病院	鳥取県鳥取市江津730	431	770.4	基幹災害拠点病院

① 要転院患者数

- ・ 病床利用率は、厚生労働省統計、平成 27 年医療施設（静態・動態）調査・病院報告より、鳥取県の病床利用率を用いる。
- ・ 医療機能支障予測の対象となる医療機関建物は、当該建物が位置する 250mメッシュ内の他の建築物と同比率で被害を受けると仮定する。医療機関建物は非木造であるため、非木造建物被害率と同じとした。
- ・ 医療機関建物被害率は、（全壊・焼失率）＋1/2×（半壊率）とする。
- ・ ライフライン機能低下による医療機能低下率は、阪神・淡路大震災の事例データを参考とし、断水あるいは停電した場合、震度 6 強以上の地域では医療機能の 60%がダウンし、それ以外の地域では 30%がダウンすると仮定する。
- ・ 転院を要する者の割合は 50%と設定する。

要転院患者数（人）

＝病床数×病床利用率×（医療機関建物被害率＋医療機能低下率－医療機関建物被害率×医療機能低下率）×転院者の割合

② 医療需要量

入院需要（新規入院需要発生数）（人）
 = 重傷者 + 医療機関で結果的に亡くなる者（全死者数の10%にあたる）
 + 被災した医療機関からの転院患者数
 外来需要（人） = 軽傷者

③ 医療供給数

入院供給数（人）
 = 病床数 × (1 - 病床利用率) × (1 - 医療機関建物被害率)
 × (1 - 医療機能低下率)
 外来供給数（人）
 = 1日あたりの外来患者数 × (1 - 医療機関建物被害率) × (1 - 医療機能低下率)

④ 医療対応力不足数

入院対応力不足数（人） = 入院供給数 - 入院需要
 外来対応力不足数（人） = 外来供給数 - 外来需要

(2) 医療機能支障予測結果

① 要転院患者数

各地震の要転院患者数を以下の表に示す。

表 6.2-2 要転院患者数

震源断層	病院別要転院患者数				
	鳥取赤十字病院	鳥取県立厚生病院	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県立中央病院	計
倉吉南方の推定断層	約 10	約 70	-	約 10	約 90
鳥取県西部地震断層	-	*	約 120	-	約 120
雨滝 - 釜戸断層	約 30	-	-	約 30	約 70
鹿野・吉岡断層	約 100	約 20	-	約 50	約 170
宍道(鹿島)断層 (22km)	-	-	約 10	-	約 10
宍道(鹿島)断層 (39km)	-	-	約 60	-	約 60
F55断層 (津波: 大すべり右側)	約 40	約 30	約 120	約 30	約 220
F55断層 (津波: 大すべり左側)	約 40	約 30	約 120	約 30	約 220
F55断層 (津波: 大すべり中央)	約 40	約 30	約 120	約 30	約 220
佐渡島北方沖断層	*	-	*	*	*

* : 数人 - : 転院患者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。概ね2桁の有効数字となるよう四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

② 医療需要量

各地震の医療需要量予測結果を以下の図表に示す。

- ・表 6.2-3 医療需要量：断層毎の集計
- ・表 6.2-4(1) 市町村別の医療需要量：倉吉南方の推定断層
- ・表 6.2-4(2) 市町村別の医療需要量：鳥取県西部地震断層
- ・表 6.2-4(3) 市町村別の医療需要量：雨滝－釜戸断層
- ・表 6.2-4(4) 市町村別の医療需要量：鹿野・吉岡断層
- ・表 6.2-4(5) 市町村別の医療需要量：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 6.2-4(6) 市町村別の医療需要量：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 6.2-4(7) 市町村別の医療需要量：F55断層（津波：大すべり右側）
- ・表 6.2-4(8) 市町村別の医療需要量：F55断層（津波：大すべり左側）
- ・表 6.2-4(9) 市町村別の医療需要量：F55断層（津波：大すべり中央）
- ・表 6.2-4(10) 市町村別の医療需要量：佐渡島北方沖断層

表 6.2-3 医療需要量：断層毎の集計（人）

震源断層	入院需要	外来需要
倉吉南方の推定地震	約 360	約 990
鳥取県西部地震断層	約 240	約 610
雨滝－釜戸断層	約 110	約 290
鹿野・吉岡断層	約 770	約 2,000
宍道（鹿島）断層 （22km）	約 10	約 40
宍道（鹿島）断層 （39km）	約 90	約 290
F55断層 （津波：大すべり右側）	約 280	約 530
F55断層 （津波：大すべり右側）	約 340	約 630
F55断層 （津波：大すべり中央）	約 310	約 570
佐渡島北方沖断層	約 100	約 180

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っている。

- ・1,000未満：1の位を四捨五入
- ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

表 6.2-4(1) 市町村別の医療需要量：倉吉南方の推定断層：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	約 20	約 60
202 米子市	*	*
203 倉吉市	約 280	約 650
204 境港市	-	-
302 岩美町	*	*
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	*	*
364 三朝町	約 20	約 60
370 湯梨浜町	約 30	約 130
371 琴浦町	*	約 20
372 北栄町	約 10	約 70
384 日吉津村	-	-
386 大山町	*	*
389 南部町	*	*
390 伯耆町	*	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 360	約 990

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

- ・1,000未満：1の位を四捨五入
- ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(2) 市町村別の医療需要量：鳥取県西部地震断層：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	-	-
202 米子市	約 200	約 360
203 倉吉市	*	約 10
204 境港市	*	約 40
302 岩美町	-	-
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	*	*
371 琴浦町	*	*
372 北栄町	*	*
384 日吉津村	*	*
386 大山町	*	約 10
389 南部町	約 30	約 100
390 伯耆町	*	約 30
401 日南町	*	約 10
402 日野町	約 10	約 30
403 江府町	*	約 10
合計	約 240	約 610

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

- ・1,000未満：1の位を四捨五入
- ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(3) 市町村別の医療需要量：雨滝－釜戸断層：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	約 90	約 230
202 米子市	-	-
203 倉吉市	*	*
204 境港市	-	-
302 岩美町	約 10	約 50
325 若桜町	*	*
328 智頭町	*	*
329 八頭町	*	約 10
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	*	*
371 琴浦町	-	-
372 北栄町	*	*
384 日吉津村	-	-
386 大山町	-	-
389 南部町	-	-
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 110	約 290

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

- ・1,000未満：1の位を四捨五入
- ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(4) 市町村別の医療需要量：鹿野・吉岡断層：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	約 750	約 1,900
202 米子市	-	-
203 倉吉市	約 20	約 20
204 境港市	*	*
302 岩美町	*	約 10
325 若桜町	*	*
328 智頭町	*	*
329 八頭町	*	約 10
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	*	約 10
371 琴浦町	*	*
372 北栄町	*	*
384 日吉津村	-	-
386 大山町	*	*
389 南部町	-	-
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 770	約 2,000

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

- ・1,000未満：1の位を四捨五入
- ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(5) 市町村別の医療需要量：宍道（鹿島）断層（22km）：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	-	-
202 米子市	約 10	約 20
203 倉吉市	-	-
204 境港市	*	約 10
302 岩美町	-	-
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	-	-
370 湯梨浜町	-	-
371 琴浦町	-	-
372 北栄町	-	-
384 日吉津村	*	*
386 大山町	*	*
389 南部町	*	*
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 10	約 40

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入
・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(6) 市町村別の医療需要量：宍道（鹿島）断層（39km）：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	-	-
202 米子市	約 60	約 70
203 倉吉市	*	*
204 境港市	約 30	約 210
302 岩美町	-	-
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	-	-
371 琴浦町	*	*
372 北栄町	*	*
384 日吉津村	*	*
386 大山町	*	*
389 南部町	*	*
390 伯耆町	*	*
401 日南町	*	*
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 90	約 290

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入
・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(7) 市町村別の医療需要量：F55 断層（津波：大すべり右側）：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	約 80	約 80
202 米子市	約 120	約 90
203 倉吉市	約 30	約 30
204 境港市	約 10	約 50
302 岩美町	*	約 10
325 若桜町	*	*
328 智頭町	-	-
329 八頭町	*	*
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	*	約 20
371 琴浦町	約 10	約 80
372 北栄町	*	約 20
384 日吉津村	*	約 10
386 大山町	約 20	約 120
389 南部町	*	*
390 伯耆町	*	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 280	約 530

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入
・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震・津波に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(8) 市町村別の医療需要量：F55 断層（津波：大すべり左側）：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	約 80	約 80
202 米子市	約 120	約 90
203 倉吉市	約 30	約 30
204 境港市	約 60	約 140
302 岩美町	約 20	約 40
325 若桜町	*	*
328 智頭町	-	-
329 八頭町	*	*
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	*	約 10
371 琴浦町	約 10	約 80
372 北栄町	*	約 20
384 日吉津村	*	約 10
386 大山町	約 20	約 120
389 南部町	*	*
390 伯耆町	*	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 340	約 630

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入
・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震・津波に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(9) 市町村別の医療需要量：F55 断層（津波：大すべり中央）：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	約 80	約 80
202 米子市	約 120	約 90
203 倉吉市	約 30	約 30
204 境港市	約 30	約 80
302 岩美町	約 20	約 40
325 若桜町	*	*
328 智頭町	-	-
329 八頭町	*	*
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	*	約 10
371 琴浦町	約 10	約 80
372 北栄町	*	約 20
384 日吉津村	*	約 10
386 大山町	約 20	約 120
389 南部町	*	*
390 伯耆町	*	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 310	約 570

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入
・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：地震・津波に伴う入院需要・外来需要なし

表 6.2-4(10) 市町村別の医療需要量：佐渡島北方沖断層：冬 18 時
(人)

市町村	入院需要	外来需要
201 鳥取市	*	*
202 米子市	*	*
203 倉吉市	-	-
204 境港市	約 90	約 170
302 岩美町	*	*
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	-	-
370 湯梨浜町	*	*
371 琴浦町	-	-
372 北栄町	-	-
384 日吉津村	-	-
386 大山町	*	-
389 南部町	-	-
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 100	約 180

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入
・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

*：数人 -：津波に伴う入院需要・外来需要なし

③ 医療対応力不足数

各地震の医療対応力不足数を以下の表に示す。

表 6.2-5 医療対応力不足数

(人)

震源断層	需要		供給数		医療対応力不足数	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来
倉吉南方の推定断層	約 360	約 990	約 210	約 3,000	-約 150	約 2,000
鳥取県西部地震断層	約 240	約 610	約 200	約 2,800	-約 40	約 2,200
雨滝－釜戸断層	約 110	約 290	約 210	約 3,100	約 110	約 2,800
鹿野・吉岡断層	約 770	約 2,000	約 180	約 2,700	-約 590	約 740
宍道(鹿島)断層 (22km)	約 10	約 40	約 230	約 3,300	約 220	約 3,300
宍道(鹿島)断層 (39km)	約 90	約 290	約 220	約 3,100	約 130	約 2,800
F55断層 (津波:大すべり右側)	約 280	約 530	約 170	約 2,500	-約 110	約 1,900
F55断層 (津波:大すべり右側)	約 340	約 630	約 170	約 2,500	-約 170	約 1,800
F55断層 (津波:大すべり中央)	約 310	約 570	約 170	約 2,500	-約 140	約 1,900
佐渡島北方沖断層	約 100	約 180	約 230	約 3,400	約 140	約 3,200

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、量はある程度幅をもって見る必要がある。概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っている。

- ・1,000未満 : 1の位を四捨五入
- ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入

6.2.2 住機能支障の予測

(1) 住機能支障の予測手法

- ・ 住宅の全半壊・焼失による住機能支障を、短期、中期、長期に分けて予測する。
- ・ 住機能支障の予測は、鳥取県（2004）¹で用いた手法に準拠して予測する。

① 短期的住宅機能支障（発災～約1ヶ月）

- ・ 予測した避難者数のうち、最大となる被災1週間後の冬18時を用いて、避難所の過不足を予測する。
- ・ なお、避難所過不足数を予測するための避難所は、建物を対象とし、建物（一時避難所）は除く。ただし、建物（一時避難所）しか指定されていない市町村については、建物（一時避難所）を対象とする。

避難所過不足数（人）＝避難所収容人員－被災1週間後の避難所避難者数

表 6.2-6 市町村別避難所収容人員

(人)

市町村	建物			敷地			合計	避難所過不足数 算出に用いる 避難所収容人員
	建物	建物 (一時避難所)	計	敷地	敷地 (一時避難所)	計		
201 鳥取市	115,683	16,959	132,642		2,209	2,209	134,851	115,683
202 米子市	41,040		41,040		982,215	982,215	1,023,255	41,040
203 倉吉市	31,513		31,513	68,339		68,339	99,852	31,513
204 境港市	17,420		17,420		199,720	199,720	217,140	17,420
302 岩美町	2,727		2,727	23,340		23,340	26,067	2,727
325 若桜町	4,000	5,020	9,020		4,160	4,160	13,180	4,000
328 智頭町		7,698	7,698		7,575	7,575	15,273	7,698
329 八頭町	12,854		12,854	-		-	12,854	12,854
364 三朝町	2,853	1,746	4,599		1,000	1,000	5,599	2,853
370 湯梨浜町	10,370	7,882	18,252	2,080	868	2,948	21,200	10,370
371 琴浦町	8,201	4,199	12,400	22,879	2,054	24,933	37,333	8,201
372 北栄町	4,040	6,912	10,952	21,250	4,131	25,381	36,333	4,040
384 日吉津村	2,088	3,040	5,128		3,000	3,000	8,128	2,088
386 大山町	16,280		16,280	56,430		56,430	72,710	16,280
389 南部町	12,285		12,285		17,462	17,462	29,747	12,285
390 伯耆町		13,121	13,121		25,130	25,130	38,251	13,121
401 日南町	6,410	3,250	9,660		3,350	3,350	13,010	6,410
402 日野町	3,811	1,246	5,057		-	-	5,057	3,811
403 江府町	9,818		9,818	13,250		13,250	23,068	9,818
合計	301,393	71,073	372,466	207,568	1,252,874	1,460,442	1,832,908	322,212

資料：鳥取県の危機管理 HP

¹ 鳥取県（2004）：H16年度鳥取県地震防災調査研究業務，平成17年3月，鳥取県

② 中期的住宅機能支障（発災後約1ヶ月～約1年）

- ・ 1 ヶ月を経過すると応急仮設住宅も整備され始める。
- ・ 阪神・淡路大震災の実績に基づいた、全壊・焼失世帯数に 0.27 を乗じる愛知県(2003)²の方法を採用し、必要応急仮設住宅数（世帯）を求める。
- ・ これは、阪神・淡路大震災での応急仮設住宅建設戸数 48,300 世帯に対して、被災地での全壊約 181,799 世帯になったことによる。
- ・ 必要応急仮設住宅数予測に用いる避難所避難者数は、被災 1 ヶ月後の冬 18 時を用いる。

必要応急仮設住宅数（世帯）

$$= \text{被災 1 ヶ月後の避難所避難者数} / \text{平均世帯人数} \times 0.27$$

- ・ 合せて、市町村ごとの応急仮設住宅用地を比較して応急仮設住宅の過不足数を想定する。
- ・ 市町村毎の応急仮設住宅用地は、鳥取県（2004）で実施した市町村アンケート調査結果を用いることとし、応急仮設住宅の床面積は 29.7 (m²):9 坪、建ぺい率を 50% と設定した。

直ちに設置可能な応急仮設住宅数（世帯）

$$= \text{応急仮設住宅用地面積} / \text{平均的応急仮設住宅設置面積}^*$$

応急仮設住宅過不足数（世帯）

$$= \text{直ちに設置可能な応急仮設住宅数} - \text{必要応急仮設住宅数}$$

$$*\text{平均的応急仮設住宅設置面積} = (29.7 \text{ (m}^2\text{)} : 9 \text{ 坪}) / \text{建ぺい率 50\%}$$

③ 長期的住宅機能支障（発災後約1年～数年以降）

- ・ 発災後 1 年を経過すると、公営住宅などへと生活が移り始める。
- ・ 阪神・淡路大震災の実績に基づいた愛知県（2003）の方法を採用し、長期的機能支障（公営住宅への入居、民公営住宅への入居、持家購入・建替、自宅改修・修理）を求める。

$$\text{公営住宅入居世帯数（世帯）} = \text{必要応急仮設住宅数} \times 0.64$$

$$\text{民間賃貸住宅入居世帯数（世帯）} = \text{必要応急仮設住宅数} \times 0.095$$

$$\text{持家購入・建替世帯数（世帯）} = \text{必要応急仮設住宅数} \times 0.157$$

$$\text{自宅改修・修理世帯数（世帯）} = \text{必要応急仮設住宅数} \times 0.023$$

² 愛知県(2003):愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書,平成15年3月,愛知県防災会議地震部会

(2) 住機能支障予測結果

各地震の住宅機能支障を以下の表に示す。

- ・表 6.2-7 住機能支障：断層毎の集計
- ・表 6.2-8(1) 市町村別の住機能支障：倉吉南方の推定断層
- ・表 6.2-8(2) 市町村別の住機能支障：鳥取県西部地震断層
- ・表 6.2-8(3) 市町村別の住機能支障：雨滝－釜戸断層
- ・表 6.2-8(4) 市町村別の住機能支障：鹿野・吉岡断層
- ・表 6.2-8(5) 市町村別の住機能支障：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 6.2-8(6) 市町村別の住機能支障：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 6.2-8(7) 市町村別の住機能支障：F55 断層（津波：大すべり右側）
- ・表 6.2-8(8) 市町村別の住機能支障：F55 断層（津波：大すべり左側）
- ・表 6.2-8(9) 市町村別の住機能支障：F55 断層（津波：大すべり中央）
- ・表 6.2-8(10) 市町村別の住機能支障：佐渡島北方沖断層

表 6.2-7 住機能支障：断層毎の集計

(人、世帯)

震源断層	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
倉吉南方の推定断層	約 11,000	約 322,000	約 311,000	約 6,100	約 590	約 15,000	約 15,000	約 370	約 60	約 90	約 10
鳥取県西部地震断層	約 17,000	約 322,000	約 305,000	約 9,200	約 900	約 15,000	約 14,000	約 600	約 90	約 150	約 20
雨滝－釜戸断層	約 4,900	約 322,000	約 317,000	約 2,000	約 200	約 15,000	約 15,000	約 130	約 20	約 30	*
鹿野・吉岡断層	約 29,000	約 322,000	約 294,000	約 16,000	約 1,600	約 15,000	約 14,000	約 1,000	約 160	約 260	約 40
宍道(鹿島)断層 (22km)	約 2,300	約 322,000	約 320,000	約 1,300	約 130	約 15,000	約 15,000	約 90	約 10	約 20	*
宍道(鹿島)断層 (39km)	約 8,400	約 322,000	約 314,000	約 4,600	約 450	約 15,000	約 15,000	約 300	約 40	約 70	約 10
F55断層 (津波:大すべり右側)	約 13,000	約 322,000	約 309,000	約 6,600	約 640	約 15,000	約 15,000	約 420	約 60	約 100	約 20
F55断層 (津波:大すべり左側)	約 14,000	約 322,000	約 309,000	約 6,600	約 640	約 15,000	約 15,000	約 420	約 60	約 100	約 20
F55断層 (津波:大すべり中央)	約 13,000	約 322,000	約 309,000	約 6,600	約 640	約 15,000	約 15,000	約 420	約 60	約 100	約 20
佐渡島北方沖断層	約 270	約 322,000	約 322,000	約 90	約 10	約 15,000	約 15,000	約 10	*	*	*

*：数人、数世帯

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っている。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-8(1) 市町村別の住機能支障：倉吉南方の推定断層：冬 18 時 (人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 400	約 116,000	約 115,000	約 150	約 20	約 540	約 520	約 10	*	*	*
202 米子市	約 170	約 41,000	約 41,000	約 100	約 10	-	-約 10	約 10	*	*	*
203 倉吉市	約 7,500	約 32,000	約 24,000	約 4,300	約 420	約 400	-約 20	約 270	約 40	約 70	約 10
204 境港市	*	約 17,000	約 17,000	*	*	約 5,300	約 5,300	*	*	*	*
302 岩美町	*	約 2,700	約 2,700	*	*	-	*	*	*	*	*
325 若桜町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 780	約 780	-	-	-	-
364 三朝町	約 500	約 2,900	約 2,400	約 260	約 20	-	-約 20	約 20	*	*	*
370 湯梨浜町	約 1,400	約 10,000	約 8,900	約 760	約 70	約 2,900	約 2,800	約 40	約 10	約 10	*
371 琴浦町	約 160	約 8,200	約 8,000	約 60	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
372 北栄町	約 910	約 4,000	約 3,100	約 410	約 30	-	-約 30	約 20	*	約 10	*
384 日吉津村	-	約 2,100	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	約 16,000	約 16,000	*	*	約 1,100	約 1,100	*	*	*	*
389 南部町	約 20	約 12,000	約 12,000	約 10	*	約 810	約 810	*	*	*	*
390 伯耆町	*	約 13,000	約 13,000	*	*	約 890	約 890	*	*	*	*
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	*	約 9,800	約 9,800	*	*	約 400	約 400	*	*	*	*
合計	約 11,000	約 322,000	約 311,000	約 6,100	約 590	約 15,000	約 15,000	約 370	約 60	約 90	約 10

*： 数人、数世帯 -： 地震による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(2) 市町村別の住機能支障：鳥取県西部地震断層：冬 18 時 (人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	*	約 116,000	約 116,000	*	*	約 540	約 540	*	*	*	*
202 米子市	約 13,000	約 41,000	約 28,000	約 7,300	約 760	-	-約 760	約 490	約 70	約 120	約 20
203 倉吉市	約 50	約 32,000	約 31,000	約 30	*	約 400	約 400	*	*	*	*
204 境港市	約 1,900	約 17,000	約 16,000	約 930	約 90	約 5,300	約 5,200	約 60	約 10	約 10	*
302 岩美町	-	約 2,700	約 2,700	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 780	約 780	-	-	-	-
364 三朝町	-	約 2,900	約 2,900	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 20	約 10,000	約 10,000	約 10	*	約 2,900	約 2,900	*	*	*	*
371 琴浦町	*	約 8,200	約 8,200	*	*	-	*	*	*	*	*
372 北栄町	約 40	約 4,000	約 4,000	約 20	*	-	*	*	*	*	*
384 日吉津村	約 100	約 2,100	約 2,000	約 40	*	-	*	*	*	*	*
386 大山町	約 20	約 16,000	約 16,000	*	*	約 1,100	約 1,100	*	*	*	*
389 南部町	約 1,300	約 12,000	約 11,000	約 680	約 60	約 810	約 750	約 40	約 10	約 10	*
390 伯耆町	約 270	約 13,000	約 13,000	約 80	約 10	約 890	約 880	*	*	*	*
401 日南町	約 60	約 6,400	約 6,400	約 20	*	約 860	約 860	*	*	*	*
402 日野町	約 200	約 3,800	約 3,600	約 90	約 10	約 470	約 460	約 10	*	*	*
403 江府町	約 70	約 9,800	約 9,700	約 20	*	約 400	約 400	*	*	*	*
合計	約 17,000	約 322,000	約 305,000	約 9,200	約 900	約 15,000	約 14,000	約 600	約 90	約 150	約 20

*： 数人、数世帯 -： 地震による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(3) 市町村別の住機能支障：雨滝－釜戸断層：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 4,200	約 116,000	約 111,000	約 1,700	約 170	約 540	約 370	約 110	約 20	約 30	*
202 米子市	*	約 41,000	約 41,000	*	*	-	*	*	*	*	*
203 倉吉市	約 30	約 32,000	約 31,000	約 20	*	約 400	約 400	*	*	*	*
204 境港市	-	約 17,000	約 17,000	-	-	約 5,300	約 5,300	-	-	-	-
302 岩美町	約 580	約 2,700	約 2,100	約 280	約 20	-	-約 20	約 20	*	*	*
325 若桜町	約 10	約 4,000	約 4,000	約 10	*	-	*	*	*	*	*
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	約 30	約 13,000	約 13,000	約 10	*	約 780	約 780	*	*	*	*
364 三朝町	-	約 2,900	約 2,900	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 20	約 10,000	約 10,000	約 10	*	約 2,900	約 2,900	*	*	*	*
371 琴浦町	-	約 8,200	約 8,200	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	約 20	約 4,000	約 4,000	約 10	*	-	*	*	*	*	*
384 日吉津村	-	約 2,100	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	-	約 16,000	約 16,000	-	-	約 1,100	約 1,100	-	-	-	-
389 南部町	-	約 12,000	約 12,000	-	-	約 810	約 810	-	-	-	-
390 伯耆町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 890	約 890	-	-	-	-
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	-	約 9,800	約 9,800	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
合計	約 4,900	約 322,000	約 317,000	約 2,000	約 200	約 15,000	約 15,000	約 130	約 20	約 30	*

*： 数人、数世帯 -： 地震による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(4) 市町村別の住機能支障：鹿野・吉岡断層：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 28,000	約 116,000	約 88,000	約 16,000	約 1,600	約 540	-約 1,100	約 1,000	約 150	約 250	約 40
202 米子市	約 10	約 41,000	約 41,000	*	*	-	*	*	*	*	*
203 倉吉市	約 320	約 32,000	約 31,000	約 140	約 10	約 400	約 380	約 10	*	*	*
204 境港市	*	約 17,000	約 17,000	*	*	約 5,300	約 5,300	*	*	*	*
302 岩美町	約 150	約 2,700	約 2,600	約 70	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
325 若桜町	*	約 4,000	約 4,000	*	*	-	*	*	*	*	*
328 智頭町	*	約 7,700	約 7,700	*	*	約 1,000	約 1,000	*	*	*	*
329 八頭町	約 90	約 13,000	約 13,000	約 10	*	約 780	約 780	*	*	*	*
364 三朝町	約 10	約 2,900	約 2,800	*	*	-	*	*	*	*	*
370 湯梨浜町	約 320	約 10,000	約 10,000	約 160	約 10	約 2,900	約 2,900	約 10	*	*	*
371 琴浦町	*	約 8,200	約 8,200	*	*	-	*	*	*	*	*
372 北栄町	約 100	約 4,000	約 3,900	約 50	*	-	*	*	*	*	*
384 日吉津村	-	約 2,100	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	約 16,000	約 16,000	*	*	約 1,100	約 1,100	*	*	*	*
389 南部町	-	約 12,000	約 12,000	-	-	約 810	約 810	-	-	-	-
390 伯耆町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 890	約 890	-	-	-	-
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	-	約 9,800	約 9,800	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 322,000	約 294,000	約 16,000	約 1,600	約 15,000	約 14,000	約 1,000	約 160	約 260	約 40

*： 数人、数世帯 -： 地震による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(5) 市町村別の住機能支障：宍道（鹿島）断層（22km）：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	*	約 116,000	約 116,000	*	*	約 540	約 540	*	*	*	*
202 米子市	約 1,400	約 41,000	約 40,000	約 830	約 90	-	-約 90	約 60	約 10	約 10	*
203 倉吉市	-	約 32,000	約 32,000	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
204 境港市	約 890	約 17,000	約 17,000	約 470	約 50	約 5,300	約 5,200	約 30	*	約 10	*
302 岩美町	-	約 2,700	約 2,700	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 780	約 780	-	-	-	-
364 三朝町	-	約 2,900	約 2,900	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	-	約 10,000	約 10,000	-	-	約 2,900	約 2,900	-	-	-	-
371 琴浦町	-	約 8,200	約 8,200	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	約 10	約 2,100	約 2,100	*	*	-	*	*	*	*	*
386 大山町	*	約 16,000	約 16,000	*	*	約 1,100	約 1,100	*	*	*	*
389 南部町	約 20	約 12,000	約 12,000	約 10	*	約 810	約 810	*	*	*	*
390 伯耆町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 890	約 890	-	-	-	-
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	-	約 9,800	約 9,800	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
合計	約 2,300	約 322,000	約 320,000	約 1,300	約 130	約 15,000	約 15,000	約 90	約 10	約 20	*

*： 数人、数世帯 -： 地震による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(6) 市町村別の住機能支障：宍道（鹿島）断層（39km）：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	*	約 116,000	約 116,000	*	*	約 540	約 540	*	*	*	*
202 米子市	約 4,000	約 41,000	約 37,000	約 2,300	約 240	-	-約 240	約 160	約 20	約 40	約 10
203 倉吉市	*	約 32,000	約 32,000	*	*	約 400	約 400	*	*	*	*
204 境港市	約 4,300	約 17,000	約 13,000	約 2,300	約 220	約 5,300	約 5,000	約 140	約 20	約 40	約 10
302 岩美町	*	約 2,700	約 2,700	*	*	-	*	*	*	*	*
325 若桜町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 780	約 780	-	-	-	-
364 三朝町	-	約 2,900	約 2,900	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	*	約 10,000	約 10,000	*	*	約 2,900	約 2,900	*	*	*	*
371 琴浦町	*	約 8,200	約 8,200	*	*	-	*	*	*	*	*
372 北栄町	*	約 4,000	約 4,000	*	*	-	*	*	*	*	*
384 日吉津村	約 30	約 2,100	約 2,100	約 20	*	-	*	*	*	*	*
386 大山町	*	約 16,000	約 16,000	*	*	約 1,100	約 1,100	*	*	*	*
389 南部町	約 30	約 12,000	約 12,000	約 20	*	約 810	約 810	*	*	*	*
390 伯耆町	*	約 13,000	約 13,000	*	*	約 890	約 890	*	*	*	*
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	-	約 9,800	約 9,800	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
合計	約 8,400	約 322,000	約 314,000	約 4,600	約 450	約 15,000	約 15,000	約 300	約 40	約 70	約 10

*： 数人、数世帯 -： 地震による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(7) 市町村別の住機能支障：F55 断層（津波：大すべり右側）：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 2,000	約 116,000	約 114,000	約 1,100	約 110	約 540	約 430	約 70	約 10	約 20	*
202 米子市	約 6,200	約 41,000	約 35,000	約 3,100	約 330	-	-約 330	約 210	約 30	約 50	約 10
203 倉吉市	約 760	約 32,000	約 31,000	約 290	約 30	約 400	約 370	約 20	*	*	*
204 境港市	約 1,800	約 17,000	約 16,000	約 940	約 90	約 5,300	約 5,200	約 60	約 10	約 10	*
302 岩美町	約 150	約 2,700	約 2,600	約 70	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
325 若桜町	*	約 4,000	約 4,000	*	*	-	*	*	*	*	*
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	*	約 13,000	約 13,000	*	*	約 780	約 780	*	*	*	*
364 三朝町	*	約 2,900	約 2,900	*	*	-	*	*	*	*	*
370 湯梨浜町	約 400	約 10,000	約 10,000	約 190	約 20	約 2,900	約 2,900	約 10	*	*	*
371 琴浦町	約 610	約 8,200	約 7,600	約 220	約 20	-	-約 20	約 10	*	*	*
372 北栄町	約 410	約 4,000	約 3,600	約 160	約 10	-	-約 10	約 10	*	*	*
384 日吉津村	約 150	約 2,100	約 1,900	約 60	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
386 大山町	約 980	約 16,000	約 15,000	約 410	約 30	約 1,100	約 1,000	約 20	*	約 10	*
389 南部町	約 30	約 12,000	約 12,000	約 20	*	約 810	約 810	*	*	*	*
390 伯耆町	約 10	約 13,000	約 13,000	*	*	約 890	約 890	*	*	*	*
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	*	約 9,800	約 9,800	*	*	約 400	約 400	*	*	*	*
合計	約 13,000	約 322,000	約 309,000	約 6,600	約 640	約 15,000	約 15,000	約 420	約 60	約 100	約 20

*： 数人、数世帯 -： 地震・津波による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(8) 市町村別の住機能支障：F55 断層（津波：大すべり左側）：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 2,000	約 116,000	約 114,000	約 1,100	約 110	約 540	約 430	約 70	約 10	約 20	*
202 米子市	約 6,200	約 41,000	約 35,000	約 3,100	約 330	-	-約 330	約 210	約 30	約 50	約 10
203 倉吉市	約 760	約 32,000	約 31,000	約 290	約 30	約 400	約 370	約 20	*	*	*
204 境港市	約 1,900	約 17,000	約 16,000	約 950	約 90	約 5,300	約 5,200	約 60	約 10	約 10	*
302 岩美町	約 160	約 2,700	約 2,600	約 70	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
325 若桜町	*	約 4,000	約 4,000	*	*	-	*	*	*	*	*
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	*	約 13,000	約 13,000	*	*	約 780	約 780	*	*	*	*
364 三朝町	*	約 2,900	約 2,900	*	*	-	*	*	*	*	*
370 湯梨浜町	約 400	約 10,000	約 10,000	約 180	約 20	約 2,900	約 2,900	約 10	*	*	*
371 琴浦町	約 610	約 8,200	約 7,600	約 220	約 20	-	-約 20	約 10	*	*	*
372 北栄町	約 410	約 4,000	約 3,600	約 160	約 10	-	-約 10	約 10	*	*	*
384 日吉津村	約 150	約 2,100	約 1,900	約 60	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
386 大山町	約 980	約 16,000	約 15,000	約 410	約 30	約 1,100	約 1,000	約 20	*	約 10	*
389 南部町	約 30	約 12,000	約 12,000	約 20	*	約 810	約 810	*	*	*	*
390 伯耆町	約 10	約 13,000	約 13,000	*	*	約 890	約 890	*	*	*	*
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	*	約 9,800	約 9,800	*	*	約 400	約 400	*	*	*	*
合計	約 14,000	約 322,000	約 309,000	約 6,600	約 640	約 15,000	約 15,000	約 420	約 60	約 100	約 20

*： 数人、数世帯 -： 地震・津波による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(9) 市町村別の住機能支障：F55 断層（津波：大すべり中央）：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 2,000	約 116,000	約 114,000	約 1,100	約 110	約 540	約 430	約 70	約 10	約 20	*
202 米子市	約 6,200	約 41,000	約 35,000	約 3,100	約 330	-	-約 330	約 210	約 30	約 50	約 10
203 倉吉市	約 760	約 32,000	約 31,000	約 290	約 30	約 400	約 370	約 20	*	*	*
204 境港市	約 1,800	約 17,000	約 16,000	約 940	約 90	約 5,300	約 5,200	約 60	約 10	約 10	*
302 岩美町	約 160	約 2,700	約 2,600	約 70	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
325 若桜町	*	約 4,000	約 4,000	*	*	-	*	*	*	*	*
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	*	約 13,000	約 13,000	*	*	約 780	約 780	*	*	*	*
364 三朝町	*	約 2,900	約 2,900	*	*	-	*	*	*	*	*
370 湯梨浜町	約 410	約 10,000	約 10,000	約 190	約 20	約 2,900	約 2,900	約 10	*	*	*
371 琴浦町	約 610	約 8,200	約 7,600	約 220	約 20	-	-約 20	約 10	*	*	*
372 北栄町	約 410	約 4,000	約 3,600	約 160	約 10	-	-約 10	約 10	*	*	*
384 日吉津村	約 150	約 2,100	約 1,900	約 60	約 10	-	-約 10	*	*	*	*
386 大山町	約 980	約 16,000	約 15,000	約 410	約 30	約 1,100	約 1,000	約 20	*	約 10	*
389 南部町	約 30	約 12,000	約 12,000	約 20	*	約 810	約 810	*	*	*	*
390 伯耆町	約 10	約 13,000	約 13,000	*	*	約 890	約 890	*	*	*	*
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	*	約 9,800	約 9,800	*	*	約 400	約 400	*	*	*	*
合計	約 13,000	約 322,000	約 309,000	約 6,600	約 640	約 15,000	約 15,000	約 420	約 60	約 100	約 20

*： 数人、数世帯 -： 地震・津波による住機能支障なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-8(10) 市町村別の住機能支障：佐渡島北方沖断層：冬 18 時

(人、世帯)

市町村	短期的住機能支障			中期的住機能支障				長期的住機能支障			
	被災1週間後避難所避難者数	避難所収容人員	避難所過不足数	被災1ヶ月後避難所避難者数	必要応急仮設住宅数	直ちに設置可能な応急仮設住宅数	応急仮設住宅過不足数	公営住宅入居世帯数	民間賃貸住宅入居世帯数	持家購入・建替世帯数	自宅改修・修理世帯数
201 鳥取市	約 40	約 116,000	約 116,000	約 10	*	約 540	約 540	*	*	*	*
202 米子市	約 10	約 41,000	約 41,000	*	*	-	*	*	*	*	*
203 倉吉市	-	約 32,000	約 32,000	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
204 境港市	約 220	約 17,000	約 17,000	約 70	約 10	約 5,300	約 5,300	*	*	*	*
302 岩美町	約 10	約 2,700	約 2,700	*	*	-	*	*	*	*	*
325 若桜町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	約 7,700	約 7,700	-	-	約 1,000	約 1,000	-	-	-	-
329 八頭町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 780	約 780	-	-	-	-
364 三朝町	-	約 2,900	約 2,900	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	*	約 10,000	約 10,000	*	*	約 2,900	約 2,900	*	*	*	*
371 琴浦町	-	約 8,200	約 8,200	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	-	約 4,000	約 4,000	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	-	約 2,100	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	約 16,000	約 16,000	*	*	約 1,100	約 1,100	*	*	*	*
389 南部町	-	約 12,000	約 12,000	-	-	約 810	約 810	-	-	-	-
390 伯耆町	-	約 13,000	約 13,000	-	-	約 890	約 890	-	-	-	-
401 日南町	-	約 6,400	約 6,400	-	-	約 860	約 860	-	-	-	-
402 日野町	-	約 3,800	約 3,800	-	-	約 470	約 470	-	-	-	-
403 江府町	-	約 9,800	約 9,800	-	-	約 400	約 400	-	-	-	-
合計	約 270	約 322,000	約 322,000	約 90	約 10	約 15,000	約 15,000	約 10	*	*	*

*： 数人、数世帯

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

6.2.3 飲食機能支障の予測

(1) 飲食機能支障の予測手法

- ・ 飲食機能支障として、物資不足量を予測する。
- ・ 物資不足量の予測は、内閣府（2013）による手法に準拠して予測する。
- ・ 物資需要として、食料、飲料水及び生活必需品（毛布）を予測する
- ・ 物資不足量は、主要備蓄量と需要量との差から、それぞれの不足量を算出する。

なお、今回の予測では以下の点について留意が必要である。

- ・ 備蓄量は、県と市町村が連携し、全県分を市町村人口の按分等で備蓄している。
- ・ 備蓄量は、県と市町村の合計量であり、各個人で備蓄しているものやコンビニ等との協定により供給される流通備蓄は含んでいない。
- ・ 食料や水など、県内業者等との応援協定等により、発災から2～3日後の早い段階で支援が期待できるものについては、1日分の備蓄としている。

① 物資需要量

a) 食料

- ・ 食料需要は、阪神・淡路大震災の事例に基づき、避難所避難者の1.2倍を対象者として、1日1人3食を原単位と考える。

$$\text{食料需要（食/日）} = \text{避難所避難者} \times 1.2 \times 3 \text{（食/日）}$$

b) 飲料水

- ・ 断水人口を給水需要者として、1日1人3ℓを原単位と考える。

$$\text{飲料水需要（ℓ/日）} = \text{断水人口} \times 3 \text{（ℓ/日）}$$

c) 生活必需品（毛布）

- ・ 生活必需品は毛布を対象とし、住居を失った（建物が全壊した）避難所避難者を対象として、1人2枚を原単位と考える。

$$\text{毛布需要（枚）} = \text{住居を失った避難所避難者} \times 2 \text{（枚）}$$

② 物資不足量

$$\text{物資不足量} = \text{需要量} - \text{備蓄量}$$

(2) 飲食機能支障予測結果

① 物資需要量

各地震の物資需要量を以下の表に示す。

- ・表 6.2-9 物資量：断層毎の集計
- ・表 6.2-10(1) 市町村別の物資需要量：倉吉南方の推定断層
- ・表 6.2-10(2) 市町村別の物資需要量：鳥取県西部地震断層
- ・表 6.2-10(3) 市町村別の物資需要量：雨滝－釜戸断層
- ・表 6.2-10(4) 市町村別の物資需要量：鹿野・吉岡断層
- ・表 6.2-10(5) 市町村別の物資需要量：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 6.2-10(6) 市町村別の物資需要量：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 6.2-10(7) 市町村別の物資需要量：F55断層（津波：大すべり右側）
- ・表 6.2-10(8) 市町村別の物資需要量：F55断層（津波：大すべり左側）
- ・表 6.2-10(9) 市町村別の物資需要量：F55断層（津波：大すべり中央）
- ・表 6.2-10(10) 市町村別の物資需要量：佐渡島北方沖断層

表 6.2-9 物資需要量：断層毎の集計

(食/日、ℓ/日、枚)

震源断層	季節・時間	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
		食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
倉吉南方の推定断層	冬深夜	約 30,000	約 229,000	約 17,000	約 40,000	約 113,000	約 14,000	約 22,000	約 24,000	約 8,400
	夏12時	約 27,000	約 229,000	約 15,000	約 37,000	約 113,000	約 13,000	約 20,000	約 24,000	約 7,500
	冬18時	約 31,000	約 230,000	約 17,000	約 40,000	約 113,000	約 14,000	約 22,000	約 24,000	約 8,500
鳥取県西部地震断層	冬深夜	約 36,000	約 549,000	約 20,000	約 44,000	約 101,000	約 17,000	約 22,000	約 12,000	約 10,000
	夏12時	約 35,000	約 549,000	約 20,000	約 43,000	約 101,000	約 16,000	約 21,000	約 12,000	約 9,800
	冬18時	約 59,000	約 555,000	約 33,000	約 63,000	約 101,000	約 28,000	約 33,000	約 12,000	約 17,000
雨滝－釜戸断層	冬深夜	約 11,000	約 245,000	約 5,900	約 18,000	約 59,000	約 4,900	約 7,400	約 6,300	約 3,000
	夏12時	約 10,000	約 245,000	約 5,700	約 17,000	約 59,000	約 4,700	約 7,100	約 6,300	約 2,800
	冬18時	約 11,000	約 245,000	約 5,900	約 18,000	約 59,000	約 4,900	約 7,400	約 6,300	約 3,000
鹿野・吉岡断層	冬深夜	約 78,000	約 494,000	約 43,000	約 97,000	約 254,000	約 36,000	約 56,000	約 61,000	約 22,000
	夏12時	約 74,000	約 495,000	約 41,000	約 95,000	約 254,000	約 34,000	約 54,000	約 61,000	約 21,000
	冬18時	約 86,000	約 498,000	約 48,000	約 103,000	約 254,000	約 40,000	約 59,000	約 61,000	約 24,000
宍道（鹿島）断層 （22km）	冬深夜	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 8,300	約 3,000	約 4,400	約 4,700	約 40	約 2,600
	夏12時	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 8,300	約 3,000	約 4,400	約 4,700	約 40	約 2,600
	冬18時	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 8,300	約 3,000	約 4,400	約 4,700	約 40	約 2,600
宍道（鹿島）断層 （39km）	冬深夜	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 30,000	約 36,000	約 14,000	約 17,000	約 4,600	約 8,600
	夏12時	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 30,000	約 36,000	約 14,000	約 17,000	約 4,600	約 8,500
	冬18時	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 30,000	約 36,000	約 14,000	約 17,000	約 4,600	約 8,600
F55断層 （津波：大すべり右側）	冬深夜	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 48,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000
	夏12時	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 48,000	約 113,000	約 18,000	約 23,000	約 14,000	約 11,000
	冬18時	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 48,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000
F55断層 （津波：大すべり左側）	冬深夜	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 49,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000
	夏12時	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 48,000	約 113,000	約 18,000	約 23,000	約 14,000	約 11,000
	冬18時	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 49,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000
F55断層 （津波：大すべり中央）	冬深夜	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 49,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000
	夏12時	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 48,000	約 113,000	約 18,000	約 23,000	約 14,000	約 11,000
	冬18時	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 49,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000
佐渡島北方沖断層	冬深夜									
	夏12時	約 4,400	約 5,700	約 400	約 980	約 5,600	約 540	約 330	約 5,600	約 180
	冬18時									

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるような方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-10(1) 市町村別の物資需要量：倉吉南方の推定断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 1,000	約 52,000	約 560	約 1,400	約 3,900	約 470	約 560	約 150	約 280
202 米子市	約 750	-	約 410	約 620	-	約 350	約 370	-	約 210
203 倉吉市	約 22,000	約 97,000	約 12,000	約 27,000	約 72,000	約 10,000	約 16,000	約 18,000	約 6,000
204 境港市	*	-	*	*	-	*	*	-	*
302 岩美町	約 10	-	*	約 10	-	*	*	-	*
325 若桜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	約 1,100	約 11,000	約 590	約 1,800	約 6,600	約 500	約 940	約 1,400	約 300
370 湯梨浜町	約 3,700	約 36,000	約 2,000	約 5,200	約 16,000	約 1,700	約 2,700	約 3,200	約 1,000
371 琴浦町	約 350	約 2,400	約 190	約 590	約 2,000	約 160	約 230	約 160	約 100
372 北栄町	約 2,000	約 31,000	約 1,100	約 3,300	約 12,000	約 920	約 1,500	約 1,700	約 550
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
389 南部町	約 100	-	約 50	約 80	-	約 40	約 50	-	約 30
390 伯耆町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
合計	約 31,000	約 230,000	約 17,000	約 40,000	約 113,000	約 14,000	約 22,000	約 24,000	約 8,500

*：数食、数ℓ、数枚 -：物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-10(2) 市町村別の物資需要量：鳥取県西部地震断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 10	-	*	約 10	-	*	*	-	*
202 米子市	約 49,000	約 370,000	約 27,000	約 48,000	約 61,000	約 23,000	約 26,000	約 6,800	約 14,000
203 倉吉市	約 200	約 120	約 110	約 190	約 180	約 90	約 100	*	約 50
204 境港市	約 6,100	約 99,000	約 3,400	約 6,700	約 12,000	約 2,800	約 3,400	約 1,000	約 1,700
302 岩美町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 80	-	約 40	約 60	-	約 40	約 40	-	約 20
371 琴浦町	約 10	-	*	約 10	-	*	*	-	*
372 北栄町	約 160	約 670	約 90	約 140	約 70	約 70	約 80	*	約 40
384 日吉津村	約 250	約 7,400	約 140	約 340	約 950	約 120	約 140	約 40	約 70
386 大山町	約 30	約 8,300	約 20	約 80	約 380	約 10	約 20	*	約 10
389 南部町	約 3,000	約 28,000	約 1,600	約 4,700	約 17,000	約 1,400	約 2,500	約 3,500	約 820
390 伯耆町	約 320	約 21,000	約 180	約 970	約 4,900	約 150	約 290	約 430	約 90
401 日南町	約 130	約 7,500	約 70	約 220	約 650	約 60	約 70	約 20	約 40
402 日野町	約 420	約 6,200	約 230	約 740	約 2,600	約 190	約 340	約 400	約 120
403 江府町	約 100	約 6,500	約 60	約 250	約 1,100	約 50	約 80	約 80	約 30
合計	約 59,000	約 555,000	約 33,000	約 63,000	約 101,000	約 28,000	約 33,000	約 12,000	約 17,000

*：数食、数ℓ、数枚 -：物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-10(3) 市町村別の物資需要量：雨滝－釜戸断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 8,700	約 222,000	約 4,800	約 15,000	約 53,000	約 4,000	約 6,200	約 5,700	約 2,400
202 米子市	*	-	*	*	-	*	*	-	*
203 倉吉市	約 140	-	約 80	約 120	-	約 70	約 70	-	約 40
204 境港市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	約 1,600	約 22,000	約 910	約 2,100	約 5,200	約 760	約 1,000	約 650	約 460
325 若桜町	約 30	約 220	約 20	約 50	約 170	約 10	約 20	約 10	約 10
328 智頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	約 40	約 430	約 20	約 100	約 480	約 20	約 20	*	約 10
364 三朝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 100	-	約 50	約 80	-	約 50	約 50	-	約 30
371 琴浦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	約 80	約 30	約 40	約 60	*	約 40	約 40	-	約 20
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
389 南部町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 11,000	約 245,000	約 5,900	約 18,000	約 59,000	約 4,900	約 7,400	約 6,300	約 3,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-10(4) 市町村別の物資需要量：鹿野・吉岡断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 83,000	約 405,000	約 46,000	約 99,000	約 247,000	約 38,000	約 57,000	約 61,000	約 23,000
202 米子市	約 30	-	約 20	約 30	-	約 10	約 20	-	約 10
203 倉吉市	約 1,000	約 34,000	約 560	約 1,200	約 2,200	約 470	約 520	約 40	約 280
204 境港市	*	-	*	*	-	*	*	-	*
302 岩美町	約 430	約 3,700	約 240	約 530	約 1,100	約 200	約 240	約 60	約 120
325 若桜町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
328 智頭町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
329 八頭町	約 60	約 7,600	約 30	約 320	約 1,900	約 30	約 40	約 30	約 20
364 三朝町	約 20	約 6,900	約 10	約 20	約 50	約 10	約 10	*	*
370 湯梨浜町	約 1,100	約 31,000	約 630	約 1,100	約 1,400	約 520	約 580	約 40	約 310
371 琴浦町	約 10	-	*	*	-	*	*	-	*
372 北栄町	約 360	約 9,100	約 200	約 340	約 330	約 160	約 180	*	約 100
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
389 南部町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 86,000	約 498,000	約 48,000	約 103,000	約 254,000	約 40,000	約 59,000	約 61,000	約 24,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-10(5) 市町村別の物資需要量：宍道（鹿島）断層（22km）：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	*	-	*	*	-	*	*	-	*
202 米子市	約 6,000	約 26,000	約 3,300	約 5,000	約 320	約 2,800	約 3,000	*	約 1,700
203 倉吉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	約 3,400	約 85,000	約 1,900	約 3,200	約 2,600	約 1,600	約 1,700	約 40	約 940
302 岩美町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	約 20	-	約 10	約 20	-	約 10	約 10	-	約 10
386 大山町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
389 南部町	約 100	-	約 60	約 80	-	約 50	約 50	-	約 30
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 8,300	約 3,000	約 4,400	約 4,700	約 40	約 2,600

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-10(6) 市町村別の物資需要量：宍道（鹿島）断層（39km）：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	*	-	*	*	-	*	*	-	*
202 米子市	約 17,000	約 63,000	約 9,300	約 15,000	約 4,300	約 7,700	約 8,400	約 90	約 4,600
203 倉吉市	約 10	-	約 10	約 10	-	約 10	約 10	-	*
204 境港市	約 14,000	約 102,000	約 7,700	約 15,000	約 31,000	約 6,500	約 8,200	約 4,500	約 3,900
302 岩美町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
325 若桜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 10	-	*	約 10	-	*	*	-	*
371 琴浦町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
372 北栄町	約 10	-	約 10	約 10	-	約 10	約 10	-	*
384 日吉津村	約 150	-	約 80	約 120	-	約 70	約 70	-	約 40
386 大山町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
389 南部町	約 120	約 130	約 70	約 110	約 70	約 60	約 60	*	約 30
390 伯耆町	*	-	*	*	-	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 30,000	約 36,000	約 14,000	約 17,000	約 4,600	約 8,600

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-10(7) 市町村別の物資需要量：F55 断層（津波：大すべり右側）：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 4,200	約 219,000	約 2,100	約 7,100	約 26,000	約 1,800	約 4,000	約 6,500	約 1,100
202 米子市	約 21,000	約 318,000	約 12,000	約 22,000	約 33,000	約 9,800	約 11,000	約 2,000	約 5,900
203 倉吉市	約 1,700	約 63,000	約 930	約 2,700	約 8,800	約 780	約 1,100	約 670	約 470
204 境港市	約 7,600	約 91,000	約 3,500	約 6,500	約 8,300	約 3,000	約 3,400	約 620	約 1,800
302 岩美町	約 620	約 28,000	約 240	約 550	約 1,300	約 200	約 240	約 60	約 120
325 若桜町	*	約 2,200	*	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	*	約 14,000	*	*	*	*	*	-	*
364 三朝町	*	約 3,400	*	*	約 20	*	*	-	*
370 湯梨浜町	約 1,300	約 40,000	約 680	約 1,500	約 3,000	約 570	約 670	約 190	約 340
371 琴浦町	約 770	約 34,000	約 430	約 2,200	約 10,000	約 360	約 780	約 1,200	約 210
372 北栄町	約 990	約 34,000	約 550	約 1,500	約 4,500	約 460	約 580	約 280	約 280
384 日吉津村	約 300	約 8,000	約 170	約 540	約 2,200	約 140	約 230	約 270	約 80
386 大山町	約 1,600	約 40,000	約 870	約 3,500	約 15,000	約 730	約 1,500	約 2,200	約 440
389 南部町	約 120	約 2,900	約 70	約 120	約 130	約 60	約 60	*	約 30
390 伯耆町	約 10	約 9,600	約 10	約 40	約 200	約 10	約 10	*	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	約 620	*	*	約 10	*	*	-	*
合計	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 48,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000

*：数食、数ℓ、数枚 -：物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-10(8) 市町村別の物資需要量：F55 断層（津波：大すべり左側）：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 3,900	約 219,000	約 2,100	約 7,100	約 26,000	約 1,800	約 4,000	約 6,500	約 1,000
202 米子市	約 21,000	約 318,000	約 12,000	約 22,000	約 33,000	約 9,800	約 11,000	約 2,000	約 5,900
203 倉吉市	約 1,700	約 63,000	約 930	約 2,700	約 8,800	約 780	約 1,100	約 670	約 470
204 境港市	約 9,800	約 91,000	約 3,600	約 6,700	約 8,300	約 3,100	約 3,400	約 630	約 1,800
302 岩美町	約 790	約 28,000	約 250	約 570	約 1,300	約 210	約 240	約 70	約 120
325 若桜町	*	約 2,200	*	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	*	約 14,000	*	*	*	*	*	-	*
364 三朝町	*	約 3,400	*	*	約 20	*	*	-	*
370 湯梨浜町	約 1,300	約 40,000	約 680	約 1,400	約 3,000	約 560	約 670	約 190	約 340
371 琴浦町	約 770	約 34,000	約 430	約 2,200	約 10,000	約 360	約 780	約 1,200	約 210
372 北栄町	約 990	約 34,000	約 550	約 1,500	約 4,500	約 460	約 580	約 280	約 280
384 日吉津村	約 300	約 8,000	約 170	約 540	約 2,200	約 140	約 230	約 270	約 80
386 大山町	約 1,600	約 40,000	約 870	約 3,500	約 15,000	約 730	約 1,500	約 2,200	約 440
389 南部町	約 120	約 2,900	約 70	約 120	約 130	約 60	約 60	*	約 30
390 伯耆町	約 10	約 9,600	約 10	約 40	約 200	約 10	約 10	*	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	約 620	*	*	約 10	*	*	-	*
合計	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 49,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000

*：数食、数ℓ、数枚 -：物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-10(9) 市町村別の物資需要量：F55 断層（津波：大すべり中央）：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 4,000	約 219,000	約 2,100	約 7,100	約 26,000	約 1,800	約 4,000	約 6,500	約 1,000
202 米子市	約 21,000	約 318,000	約 12,000	約 22,000	約 33,000	約 9,800	約 11,000	約 2,000	約 5,900
203 倉吉市	約 1,700	約 63,000	約 930	約 2,700	約 8,800	約 780	約 1,100	約 670	約 470
204 境港市	約 8,400	約 91,000	約 3,600	約 6,600	約 8,300	約 3,000	約 3,400	約 620	約 1,800
302 岩美町	約 890	約 28,000	約 250	約 580	約 1,300	約 210	約 240	約 70	約 120
325 若桜町	*	約 2,200	*	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	約 2,100	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	*	約 14,000	*	*	*	*	*	-	*
364 三朝町	*	約 3,400	*	*	約 20	*	*	-	*
370 湯梨浜町	約 1,400	約 40,000	約 680	約 1,500	約 3,000	約 570	約 670	約 190	約 340
371 琴浦町	約 770	約 34,000	約 430	約 2,200	約 10,000	約 360	約 780	約 1,200	約 210
372 北栄町	約 990	約 34,000	約 550	約 1,500	約 4,500	約 460	約 580	約 280	約 280
384 日吉津村	約 300	約 8,000	約 170	約 540	約 2,200	約 140	約 230	約 270	約 80
386 大山町	約 1,600	約 40,000	約 870	約 3,500	約 15,000	約 730	約 1,500	約 2,200	約 440
389 南部町	約 120	約 2,900	約 70	約 120	約 130	約 60	約 60	*	約 30
390 伯耆町	約 10	約 9,600	約 10	約 40	約 200	約 10	約 10	*	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	約 620	*	*	約 10	*	*	-	*
合計	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 49,000	約 113,000	約 18,000	約 24,000	約 14,000	約 11,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-10(10) 市町村別の物資需要量：佐渡島北方沖断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 460	約 5,600	約 60	約 130	約 5,600	約 70	約 40	約 5,600	約 20
202 米子市	約 30	約 30	約 10	約 20	約 20	約 10	約 10	約 20	*
203 倉吉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	約 3,500	約 90	約 330	約 800	約 40	約 440	約 270	約 40	約 150
302 岩美町	約 290	約 10	約 10	約 20	約 10	約 10	約 10	約 10	*
325 若桜町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 120	*	*	約 10	*	約 10	*	*	*
371 琴浦町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	*	*	*	*	*	*	*	*
389 南部町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 4,400	約 5,700	約 400	約 980	約 5,600	約 540	約 330	約 5,600	約 180

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

② 物資不足量

被災1日後における各地震の物資不足量を以下の表に示す。

なお、備蓄量は、平成27年4月1日時点であり、食料は保存食（乾パン等）と災害時要援護者用保存食（アルファ米がゆ等）の合計、飲料水は保存水（ペットボトル）とした。

- ・表 6.2-11 被災1日後の物資不足量：断層毎の集計
- ・表 6.2-12 (1) 被災1日後の市町村別物資不足量：倉吉南方の推定断層
- ・表 6.2-12 (2) 被災1日後の市町村別物資不足量：鳥取県西部地震断層
- ・表 6.2-12 (3) 被災1日後の市町村別物資不足量：雨滝一釜戸断層
- ・表 6.2-12 (4) 被災1日後の市町村別物資不足量：鹿野・吉岡断層
- ・表 6.2-12 (5) 被災1日後の市町村別物資不足量：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 6.2-12 (6) 被災1日後の市町村別物資不足量：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 6.2-12 (7) 被災1日後の市町村別物資不足量：F55断層（津波：大すべり右側）
- ・表 6.2-12 (8) 被災1日後の市町村別物資不足量：F55断層（津波：大すべり左側）
- ・表 6.2-12 (9) 被災1日後の市町村別物資不足量：F55断層（津波：大すべり中央）
- ・表 6.2-12 (10) 被災1日後の市町村別物資不足量：佐渡島北方沖断層

表 6.2-11 被災1日後の物資不足量：断層毎の集計

(食/日、ℓ/日、枚)

震源断層	季節・時間	需要			備蓄量			物資不足量		
		食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
倉吉南方の推定断層	冬深夜	約 30,000	約 229,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 45,000	-約 153,000	約 22,000
	夏12時	約 27,000	約 229,000	約 15,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 48,000	-約 153,000	約 24,000
	冬18時	約 31,000	約 230,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 45,000	-約 154,000	約 22,000
鳥取県西部地震断層	冬深夜	約 36,000	約 549,000	約 20,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 39,000	-約 473,000	約 19,000
	夏12時	約 35,000	約 549,000	約 20,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 40,000	-約 473,000	約 20,000
	冬18時	約 59,000	約 555,000	約 33,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 16,000	-約 479,000	約 6,200
雨滝一釜戸断層	冬深夜	約 11,000	約 245,000	約 5,900	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 65,000	-約 169,000	約 33,000
	夏12時	約 10,000	約 245,000	約 5,700	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 65,000	-約 169,000	約 34,000
	冬18時	約 11,000	約 245,000	約 5,900	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 65,000	-約 169,000	約 33,000
鹿野・吉岡断層	冬深夜	約 78,000	約 494,000	約 43,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	-約 2,900	-約 418,000	-約 4,200
	夏12時	約 74,000	約 495,000	約 41,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 840	-約 419,000	-約 2,200
	冬18時	約 86,000	約 498,000	約 48,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	-約 10,000	-約 422,000	-約 8,400
宍道（鹿島）断層（22km）	冬深夜	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 66,000	-約 34,000	約 34,000
	夏12時	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 66,000	-約 34,000	約 34,000
	冬18時	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 66,000	-約 34,000	約 34,000
宍道（鹿島）断層（39km）	冬深夜	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 44,000	-約 89,000	約 22,000
	夏12時	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 45,000	-約 89,000	約 22,000
	冬18時	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 44,000	-約 89,000	約 22,000
F55断層（津波：大すべり右側）	冬深夜	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 35,000	-約 835,000	約 18,000
	夏12時	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 35,000	-約 835,000	約 18,000
	冬18時	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 35,000	-約 835,000	約 18,000
F55断層（津波：大すべり左側）	冬深夜	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 33,000	-約 835,000	約 18,000
	夏12時	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 33,000	-約 835,000	約 18,000
	冬18時	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 33,000	-約 835,000	約 18,000
F55断層（津波：大すべり中央）	冬深夜	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 34,000	-約 835,000	約 18,000
	夏12時	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 34,000	-約 835,000	約 18,000
	冬18時	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 34,000	-約 835,000	約 18,000
佐渡島北方沖断層	冬深夜									
	夏12時	約 4,400	約 5,700	約 400	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 71,000	約 70,000	約 39,000
	冬18時									

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-12(1) 被災 1 日後の市町村別物資不足量：倉吉南方の推定断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 1,000	約 52,000	約 560	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 20,000	-約 39,000	約 12,000
202 米子市	約 750	-	約 410	約 13,000	約 14,000	約 8,100	約 12,000	約 14,000	約 7,700
203 倉吉市	約 22,000	約 97,000	約 12,000	約 6,000	約 5,100	約 3,200	-約 16,000	-約 92,000	-約 8,800
204 境港市	*	-	*	約 3,600	約 3,500	約 1,200	約 3,600	約 3,500	約 1,200
302 岩美町	約 10	-	*	約 1,300	約 1,300	約 790	約 1,300	約 1,300	約 790
325 若桜町	-	-	-	約 650	約 910	約 280	約 650	約 910	約 280
328 智頭町	-	-	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	-	-	-	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	約 5,600	約 3,200
364 三朝町	約 1,100	約 11,000	約 590	約 810	約 720	約 250	-約 260	-約 10,000	-約 350
370 湯梨浜町	約 3,700	約 36,000	約 2,000	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 520	-約 35,000	-約 680
371 琴浦町	約 350	約 2,400	約 190	約 3,900	約 880	約 560	約 3,600	-約 1,500	約 360
372 北栄町	約 2,000	約 31,000	約 1,100	約 2,400	約 1,200	約 750	約 380	-約 30,000	-約 360
384 日吉津村	-	-	-	約 1,000	約 600	約 200	約 1,000	約 600	約 200
386 大山町	*	-	*	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	約 3,500	約 1,200
389 南部町	約 100	-	約 50	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,200	約 2,400	約 1,100
390 伯耆町	*	-	*	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	約 2,500	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	*	-	*	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 16,000	約 200
合計	約 31,000	約 230,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 45,000	-約 154,000	約 22,000

*：数食、数ℓ、数枚 -：物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-12(2) 被災 1 日後の市町村別物資不足量：鳥取県西部地震断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 10	-	*	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 21,000	約 13,000	約 13,000
202 米子市	約 49,000	約 370,000	約 27,000	約 13,000	約 14,000	約 8,100	-約 36,000	-約 356,000	-約 19,000
203 倉吉市	約 200	約 120	約 110	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 5,800	約 5,000	約 3,100
204 境港市	約 6,100	約 99,000	約 3,400	約 3,600	約 3,500	約 1,200	-約 2,500	-約 96,000	-約 2,200
302 岩美町	-	-	-	約 1,300	約 1,300	約 790	約 1,300	約 1,300	約 790
325 若桜町	-	-	-	約 650	約 910	約 280	約 650	約 910	約 280
328 智頭町	-	-	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	-	-	-	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	約 5,600	約 3,200
364 三朝町	-	-	-	約 810	約 720	約 250	約 810	約 720	約 250
370 湯梨浜町	約 80	-	約 40	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 4,100	約 1,700	約 1,300
371 琴浦町	約 10	-	*	約 3,900	約 880	約 560	約 3,900	約 880	約 550
372 北栄町	約 160	約 670	約 90	約 2,400	約 1,200	約 750	約 2,200	約 530	約 660
384 日吉津村	約 250	約 7,400	約 140	約 1,000	約 600	約 200	約 740	-約 6,800	約 60
386 大山町	約 30	約 8,300	約 20	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	-約 4,800	約 1,200
389 南部町	約 3,000	約 28,000	約 1,600	約 1,200	約 2,400	約 1,100	-約 1,700	-約 25,000	-約 520
390 伯耆町	約 320	約 21,000	約 180	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,500	-約 19,000	約 1,100
401 日南町	約 130	約 7,500	約 70	約 1,400	約 840	約 400	約 1,300	-約 6,700	約 330
402 日野町	約 420	約 6,200	約 230	約 530	約 400	約 980	約 120	-約 5,900	約 750
403 江府町	約 100	約 6,500	約 60	約 620	約 16,000	約 200	約 520	約 9,000	約 140
合計	約 59,000	約 555,000	約 33,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 16,000	-約 479,000	約 6,200

*：数食、数ℓ、数枚 -：物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-12(3) 被災 1 日後の市町村別物資不足量：雨滝－釜戸断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 8,700	約 222,000	約 4,800	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 12,000	-約 210,000	約 8,100
202 米子市	*	-	*	約 13,000	約 14,000	約 8,100	約 13,000	約 14,000	約 8,100
203 倉吉市	約 140	-	約 80	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 5,900	約 5,100	約 3,200
204 境港市	-	-	-	約 3,600	約 3,500	約 1,200	約 3,600	約 3,500	約 1,200
302 岩美町	約 1,600	約 22,000	約 910	約 1,300	約 1,300	約 790	-約 320	-約 20,000	-約 120
325 若桜町	約 30	約 220	約 20	約 650	約 910	約 280	約 620	約 690	約 260
328 智頭町	-	-	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	約 40	約 430	約 20	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	約 5,100	約 3,200
364 三朝町	-	-	-	約 810	約 720	約 250	約 810	約 720	約 250
370 湯梨浜町	約 100	-	約 50	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 4,100	約 1,700	約 1,300
371 琴浦町	-	-	-	約 3,900	約 880	約 560	約 3,900	約 880	約 560
372 北栄町	約 80	約 30	約 40	約 2,400	約 1,200	約 750	約 2,300	約 1,200	約 700
384 日吉津村	-	-	-	約 1,000	約 600	約 200	約 1,000	約 600	約 200
386 大山町	-	-	-	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	約 3,500	約 1,200
389 南部町	-	-	-	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,200	約 2,400	約 1,100
390 伯耆町	-	-	-	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	約 2,500	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	-	-	-	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 16,000	約 200
合計	約 11,000	約 245,000	約 5,900	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 65,000	-約 169,000	約 33,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-12(4) 被災 1 日後の市町村別物資不足量：鹿野・吉岡断層：冬 18 時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 83,000	約 405,000	約 46,000	約 21,000	約 13,000	約 13,000	-約 62,000	-約 393,000	-約 33,000
202 米子市	約 30	-	約 20	約 13,000	約 14,000	約 8,100	約 13,000	約 14,000	約 8,100
203 倉吉市	約 1,000	約 34,000	約 560	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 5,000	-約 29,000	約 2,700
204 境港市	*	-	*	約 3,600	約 3,500	約 1,200	約 3,600	約 3,500	約 1,200
302 岩美町	約 430	約 3,700	約 240	約 1,300	約 1,300	約 790	約 880	-約 2,400	約 550
325 若桜町	*	-	*	約 650	約 910	約 280	約 650	約 910	約 280
328 智頭町	*	-	*	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	約 60	約 7,600	約 30	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	-約 2,000	約 3,200
364 三朝町	約 20	約 6,900	約 10	約 810	約 720	約 250	約 790	-約 6,200	約 240
370 湯梨浜町	約 1,100	約 31,000	約 630	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 3,100	-約 30,000	約 720
371 琴浦町	約 10	-	*	約 3,900	約 880	約 560	約 3,900	約 880	約 550
372 北栄町	約 360	約 9,100	約 200	約 2,400	約 1,200	約 750	約 2,000	-約 7,900	約 550
384 日吉津村	-	-	-	約 1,000	約 600	約 200	約 1,000	約 600	約 200
386 大山町	*	-	*	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	約 3,500	約 1,200
389 南部町	-	-	-	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,200	約 2,400	約 1,100
390 伯耆町	-	-	-	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	約 2,500	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	-	-	-	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 16,000	約 200
合計	約 86,000	約 498,000	約 48,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	-約 10,000	-約 422,000	-約 8,400

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-12(5) 被災 1 日後の市町村別物資不足量：宍道（鹿島）断層（22km）：冬 18 時
（食/日、ℓ/日、枚）

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	*	-	*	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 21,000	約 13,000	約 13,000
202 米子市	約 6,000	約 26,000	約 3,300	約 13,000	約 14,000	約 8,100	約 7,200	-約 12,000	約 4,800
203 倉吉市	-	-	-	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 6,000	約 5,100	約 3,200
204 境港市	約 3,400	約 85,000	約 1,900	約 3,600	約 3,500	約 1,200	約 240	-約 81,000	-約 710
302 岩美町	-	-	-	約 1,300	約 1,300	約 790	約 1,300	約 1,300	約 790
325 若桜町	-	-	-	約 650	約 910	約 280	約 650	約 910	約 280
328 智頭町	-	-	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	-	-	-	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	約 5,600	約 3,200
364 三朝町	-	-	-	約 810	約 720	約 250	約 810	約 720	約 250
370 湯梨浜町	-	-	-	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 4,200	約 1,700	約 1,400
371 琴浦町	-	-	-	約 3,900	約 880	約 560	約 3,900	約 880	約 560
372 北栄町	-	-	-	約 2,400	約 1,200	約 750	約 2,400	約 1,200	約 750
384 日吉津村	約 20	-	約 10	約 1,000	約 600	約 200	約 980	約 600	約 190
386 大山町	*	-	*	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	約 3,500	約 1,200
389 南部町	約 100	-	約 60	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,100	約 2,400	約 1,100
390 伯耆町	-	-	-	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	約 2,500	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	-	-	-	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 16,000	約 200
合計	約 9,500	約 110,000	約 5,300	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 66,000	-約 34,000	約 34,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-12(6) 被災 1 日後の市町村別物資不足量：宍道（鹿島）断層（39km）：冬 18 時
（食/日、ℓ/日、枚）

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	*	-	*	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 21,000	約 13,000	約 13,000
202 米子市	約 17,000	約 63,000	約 9,300	約 13,000	約 14,000	約 8,100	-約 3,600	-約 49,000	-約 1,200
203 倉吉市	約 10	-	約 10	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 6,000	約 5,100	約 3,200
204 境港市	約 14,000	約 102,000	約 7,700	約 3,600	約 3,500	約 1,200	-約 10,000	-約 98,000	-約 6,600
302 岩美町	*	-	*	約 1,300	約 1,300	約 790	約 1,300	約 1,300	約 790
325 若桜町	-	-	-	約 650	約 910	約 280	約 650	約 910	約 280
328 智頭町	-	-	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	-	-	-	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	約 5,600	約 3,200
364 三朝町	-	-	-	約 810	約 720	約 250	約 810	約 720	約 250
370 湯梨浜町	約 10	-	*	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 4,200	約 1,700	約 1,300
371 琴浦町	*	-	*	約 3,900	約 880	約 560	約 3,900	約 880	約 550
372 北栄町	約 10	-	約 10	約 2,400	約 1,200	約 750	約 2,400	約 1,200	約 740
384 日吉津村	約 150	-	約 80	約 1,000	約 600	約 200	約 850	約 600	約 120
386 大山町	*	-	*	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	約 3,500	約 1,200
389 南部町	約 120	約 130	約 70	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,100	約 2,200	約 1,100
390 伯耆町	*	-	*	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	約 2,500	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	-	-	-	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 16,000	約 200
合計	約 31,000	約 165,000	約 17,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 44,000	-約 89,000	約 22,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 6.2-12(7) 被災1日後の市町村別物資不足量：F55断層（津波：大すべり右側）：冬18時
(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 4,200	約 219,000	約 2,100	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 17,000	-約 206,000	約 11,000
202 米子市	約 21,000	約 318,000	約 12,000	約 13,000	約 14,000	約 8,100	-約 8,000	-約 304,000	-約 3,600
203 倉吉市	約 1,700	約 63,000	約 930	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 4,400	-約 58,000	約 2,300
204 境港市	約 7,600	約 91,000	約 3,500	約 3,600	約 3,500	約 1,200	-約 4,000	-約 87,000	-約 2,400
302 岩美町	約 620	約 28,000	約 240	約 1,300	約 1,300	約 790	約 700	-約 27,000	約 550
325 若桜町	*	約 2,200	*	約 650	約 910	約 280	約 650	-約 1,200	約 280
328 智頭町	-	約 2,100	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 640	約 1,300
329 八頭町	*	約 14,000	*	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	-約 8,900	約 3,200
364 三朝町	*	約 3,400	*	約 810	約 720	約 250	約 810	-約 2,700	約 240
370 湯梨浜町	約 1,300	約 40,000	約 680	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 2,900	-約 38,000	約 670
371 琴浦町	約 770	約 34,000	約 430	約 3,900	約 880	約 560	約 3,200	-約 33,000	約 130
372 北栄町	約 990	約 34,000	約 550	約 2,400	約 1,200	約 750	約 1,400	-約 33,000	約 200
384 日吉津村	約 300	約 8,000	約 170	約 1,000	約 600	約 200	約 700	-約 7,400	約 30
386 大山町	約 1,600	約 40,000	約 870	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 4,400	-約 37,000	約 310
389 南部町	約 120	約 2,900	約 70	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,100	-約 520	約 1,100
390 伯耆町	約 10	約 9,600	約 10	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	-約 7,000	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	*	約 620	*	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 15,000	約 200
合計	約 40,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 35,000	-約 835,000	約 18,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

-1,000未満： 1の位を四捨五入 -1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 -10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-12(8) 被災1日後の市町村別物資不足量：F55断層（津波：大すべり左側）：冬18時
(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 3,900	約 219,000	約 2,100	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 17,000	-約 206,000	約 11,000
202 米子市	約 21,000	約 318,000	約 12,000	約 13,000	約 14,000	約 8,100	-約 8,000	-約 304,000	-約 3,600
203 倉吉市	約 1,700	約 63,000	約 930	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 4,400	-約 58,000	約 2,300
204 境港市	約 9,800	約 91,000	約 3,600	約 3,600	約 3,500	約 1,200	-約 6,200	-約 87,000	-約 2,500
302 岩美町	約 790	約 28,000	約 250	約 1,300	約 1,300	約 790	約 530	-約 27,000	約 540
325 若桜町	*	約 2,200	*	約 650	約 910	約 280	約 650	-約 1,200	約 280
328 智頭町	-	約 2,100	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 640	約 1,300
329 八頭町	*	約 14,000	*	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	-約 8,900	約 3,200
364 三朝町	*	約 3,400	*	約 810	約 720	約 250	約 810	-約 2,700	約 240
370 湯梨浜町	約 1,300	約 40,000	約 680	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 2,900	-約 38,000	約 670
371 琴浦町	約 770	約 34,000	約 430	約 3,900	約 880	約 560	約 3,200	-約 33,000	約 130
372 北栄町	約 990	約 34,000	約 550	約 2,400	約 1,200	約 750	約 1,400	-約 33,000	約 200
384 日吉津村	約 300	約 8,000	約 170	約 1,000	約 600	約 200	約 700	-約 7,400	約 30
386 大山町	約 1,600	約 40,000	約 870	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 4,400	-約 37,000	約 310
389 南部町	約 120	約 2,900	約 70	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,100	-約 520	約 1,100
390 伯耆町	約 10	約 9,600	約 10	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	-約 7,000	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	*	約 620	*	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 15,000	約 200
合計	約 42,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 33,000	-約 835,000	約 18,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

-1,000未満： 1の位を四捨五入 -1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 -10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-12(9) 被災1日後の市町村別物資不足量：F55断層（津波：大すべり中央）：冬18時
(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 4,000	約 219,000	約 2,100	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 17,000	-約 206,000	約 11,000
202 米子市	約 21,000	約 318,000	約 12,000	約 13,000	約 14,000	約 8,100	-約 8,000	-約 304,000	-約 3,600
203 倉吉市	約 1,700	約 63,000	約 930	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 4,400	-約 58,000	約 2,300
204 境港市	約 8,400	約 91,000	約 3,600	約 3,600	約 3,500	約 1,200	-約 4,800	-約 87,000	-約 2,400
302 岩美町	約 890	約 28,000	約 250	約 1,300	約 1,300	約 790	約 430	-約 27,000	約 540
325 若桜町	*	約 2,200	*	約 650	約 910	約 280	約 650	-約 1,200	約 280
328 智頭町	-	約 2,100	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 640	約 1,300
329 八頭町	*	約 14,000	*	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	-約 8,900	約 3,200
364 三朝町	*	約 3,400	*	約 810	約 720	約 250	約 810	-約 2,700	約 240
370 湯梨浜町	約 1,400	約 40,000	約 680	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 2,800	-約 38,000	約 670
371 琴浦町	約 770	約 34,000	約 430	約 3,900	約 880	約 560	約 3,200	-約 33,000	約 130
372 北栄町	約 990	約 34,000	約 550	約 2,400	約 1,200	約 750	約 1,400	-約 33,000	約 200
384 日吉津村	約 300	約 8,000	約 170	約 1,000	約 600	約 200	約 700	-約 7,400	約 30
386 大山町	約 1,600	約 40,000	約 870	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 4,400	-約 37,000	約 310
389 南部町	約 120	約 2,900	約 70	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,100	-約 520	約 1,100
390 伯耆町	約 10	約 9,600	約 10	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	-約 7,000	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	*	約 620	*	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 15,000	約 200
合計	約 41,000	約 910,000	約 21,000	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 34,000	-約 835,000	約 18,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 6.2-12(10) 被災1日後の市町村別物資不足量：佐渡島北方沖断層：冬18時

(食/日、ℓ/日、枚)

市町村	物資需要			備蓄量			物資不足量		
	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布	食料	飲料水	毛布
201 鳥取市	約 460	約 5,600	約 50	約 21,000	約 13,000	約 13,000	約 20,000	約 7,000	約 13,000
202 米子市	約 30	約 30	約 10	約 13,000	約 14,000	約 8,100	約 13,000	約 14,000	約 8,100
203 倉吉市	-	-	-	約 6,000	約 5,100	約 3,200	約 6,000	約 5,100	約 3,200
204 境港市	約 3,500	約 90	約 330	約 3,600	約 3,500	約 1,200	約 130	約 3,400	約 830
302 岩美町	約 290	約 10	約 10	約 1,300	約 1,300	約 790	約 1,000	約 1,200	約 780
325 若桜町	-	-	-	約 650	約 910	約 280	約 650	約 910	約 280
328 智頭町	-	-	-	約 1,800	約 2,700	約 1,300	約 1,800	約 2,700	約 1,300
329 八頭町	-	-	-	約 4,000	約 5,600	約 3,200	約 4,000	約 5,600	約 3,200
364 三朝町	-	-	-	約 810	約 720	約 250	約 810	約 720	約 250
370 湯梨浜町	約 120	*	*	約 4,200	約 1,700	約 1,400	約 4,100	約 1,700	約 1,300
371 琴浦町	-	-	-	約 3,900	約 880	約 560	約 3,900	約 880	約 560
372 北栄町	-	-	-	約 2,400	約 1,200	約 750	約 2,400	約 1,200	約 750
384 日吉津村	-	-	-	約 1,000	約 600	約 200	約 1,000	約 600	約 200
386 大山町	*	*	*	約 6,000	約 3,500	約 1,200	約 6,000	約 3,500	約 1,200
389 南部町	-	-	-	約 1,200	約 2,400	約 1,100	約 1,200	約 2,400	約 1,100
390 伯耆町	-	-	-	約 1,800	約 2,500	約 1,200	約 1,800	約 2,500	約 1,200
401 日南町	-	-	-	約 1,400	約 840	約 400	約 1,400	約 840	約 400
402 日野町	-	-	-	約 530	約 400	約 980	約 530	約 400	約 980
403 江府町	-	-	-	約 620	約 16,000	約 200	約 620	約 16,000	約 200
合計	約 4,400	約 5,700	約 400	約 75,000	約 76,000	約 39,000	約 71,000	約 70,000	約 39,000

*： 数食、数ℓ、数枚 -： 物資需要なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

6.2.4 清掃・衛生機能支障の予測

(1) 清掃・衛生機能支障の予測手法

- ・ 清掃・衛生機能支障として、災害廃棄物量及び津波堆積物量を予測する。
- ・ 災害廃棄物量等の予測は、内閣府（2013）による手法に準拠して想定する。
- ・ 建物の全壊・焼失による躯体系の「災害廃棄物」、津波により陸上に運ばれて堆積した土砂・汚泥状物等の「津波堆積物」の発生量について算出する。
- ・ 算定にあたっては、環境省（2011）³に基づく9分類および、量等の災害廃棄物量を種類別に推計する。

① 災害廃棄物

- ・ 環境省「震災廃棄物処理指針」におけるがれき発生量の推定式を用いる。

$$Q1 = s \times q1 \times N1$$

Q1：がれき発生量(t)

s：1棟当たりの平均延床面積(平均延床面積)(m²/棟)

q1：単位延床面積当たりのがれき発生量(原単位)(t/m²)

N1：解体建築物の棟数(解体棟数=全壊棟数)(棟)

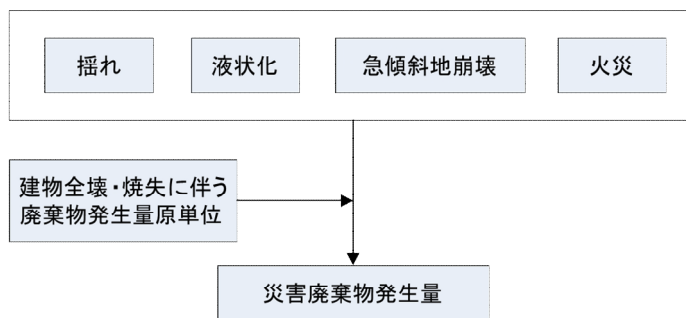


図 6.2-1 災害廃棄物発生量の想定フロー

表 6.2-13 兵庫県南部地震における廃棄物発生量原単位(t/m²)

	木造可燃	木造不燃	鉄筋可燃	鉄筋不燃	鉄骨可燃	鉄骨不燃
神戸市	0.206	0.599	0.117	0.854	0.053	0.358
尼崎市	0.193	0.425	0.000	0.877	0.079	0.726
西宮市	0.180	0.395	0.140	1.426	0.140	1.131
芦屋市	0.179	0.392	0.148	1.508	0.139	1.125
伊丹市	0.134	0.373	0.108	1.480	0.106	1.136
宝塚市	0.179	0.392	0.053	1.321		
川西市	0.174	0.392	0.098	1.426		
明石市	0.264	0.430	0.140	1.330	0.140	1.130
三木市	0.225	0.489				
淡路地域	0.179	0.468	0.129	1.388	0.140	1.123
平均	0.194	0.502	0.120	0.987	0.082	0.630

(出典：南海トラフの巨大地震 建物被害・人的被害の被害想定項目及び手法の概要、2012年8月、中央防災会議)

³環境省（2011）：東日本大震災に係る災害廃棄物の処理指針（マスタープラン），環境省，2011.5.16

② 津波堆積物

- ・ 一般社団法人廃棄物資源循環学会「津波堆積物処理指針（案）」⁴より、以下の考え方で津波堆積物の想定を行う。
- ・ 東日本大震災における測定結果より津波堆積物の堆積高を 2.5cm～4cm に設定し、それに浸水面積を乗じて津波堆積物の体積量を推定する。なお、堆積高の分布状況が把握できておらず平均堆積高の推定が困難であること等から、津波堆積高は幅を持たせて設定することとする。
- ・ 推定された体積量に対し、汚泥の体積重量換算係数を用いて津波堆積物の重量を推定する。ここでは、体積重量換算係数として、国立環境研究所の測定結果（体積比重 2.7g/cm³、含水率約 50%）を用いて、 $(2.7+2.7)/(1.0+2.7)=1.46$ により算出した 1.46t/m³、ならびに環境省（2006）⁵で示された汚泥 1.10t/m³ を用いることとする。なお、体積重量換算係数は、時間経過や堆積土砂の圧密により変化すると考えられることから、幅を持たせて設定する。

$$Q2=h \times A \times N2$$

Q2：津波堆積物の重量(t)

h：津波堆積高(2.5cm～4.0cm)；幅を持たせ想定する。

A：津波浸水面積

N2：堆積重量換算係数(1.10t/m³, 1.46t/m³)

1.46t/m³：国立環境研究所の測定結果(堆積比重 2.7g/cm³, 含水率約 50%を用いた計算結果)

1.10 t/m³：環境省（2006）

⁴廃棄物資源循環学会（2011）：津波堆積物処理指針(案)，一般社団法人廃棄物資源循環学会，2011.7

⁵環境省（2006）：産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について(通知)別添 2 産業廃棄物の体積から重量への換算係数(参考値)，環境省，2006.12.27

(2) 清掃・衛生機能支障予測結果

各地震の災害廃棄物量等を以下の表に示す。

- ・表 6.2-14 災害廃棄物量等：断層毎の集計
- ・表 6.2-15(1) 市町村別の災害廃棄物量等：倉吉南方の推定断層
- ・表 6.2-15(2) 市町村別の災害廃棄物量等：鳥取県西部地震断層
- ・表 6.2-15(3) 市町村別の災害廃棄物量等：雨滝－釜戸断層
- ・表 6.2-15(4) 市町村別の災害廃棄物量等：鹿野・吉岡断層
- ・表 6.2-15(5) 市町村別の災害廃棄物量等：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 6.2-15(6) 市町村別の災害廃棄物量等：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 6.2-15(7) 市町村別の災害廃棄物量等：F55断層（津波：大すべり右側）
- ・表 6.2-15(8) 市町村別の災害廃棄物量等：F55断層（津波：大すべり左側）
- ・表 6.2-15(9) 市町村別の災害廃棄物量等：F55断層（津波：大すべり中央）
- ・表 6.2-15(10) 市町村別の災害廃棄物量等：佐渡島北方沖断層

表 6.2-14 災害廃棄物量等：断層毎の集計

(万トン)

震源断層	季節・時間	災害廃棄物	津波堆積物	計
倉吉南方の推定断層	冬深夜	約 50	—	約 50
	夏12時	約 50	—	約 50
	冬18時	約 50	—	約 50
鳥取県西部地震断層	冬深夜	約 40	—	約 40
	夏12時	約 40	—	約 40
	冬18時	約 70	—	約 70
雨滝－釜戸断層	冬深夜	約 10	—	約 10
	夏12時	約 10	—	約 10
	冬18時	約 10	—	約 10
鹿野・吉岡断層	冬深夜	約 130	—	約 130
	夏12時	約 120	—	約 120
	冬18時	約 140	—	約 140
宍道(鹿島)断層 (22km)	冬深夜	約 10	—	約 10
	夏12時	約 10	—	約 10
	冬18時	約 10	—	約 10
宍道(鹿島)断層 (39km)	冬深夜	約 40	—	約 40
	夏12時	約 30	—	約 30
	冬18時	約 40	—	約 40
F55断層 (津波:大すべり右側)	冬深夜	約 40	約 10 ～ 約 20	約 60 ～ 約 70
	夏12時	約 40	約 10 ～ 約 20	約 50 ～ 約 70
	冬18時	約 40	約 10 ～ 約 20	約 60 ～ 約 70
F55断層 (津波:大すべり左側)	冬深夜	約 40	約 10 ～ 約 30	約 60 ～ 約 70
	夏12時	約 40	約 10 ～ 約 30	約 60 ～ 約 70
	冬18時	約 40	約 10 ～ 約 30	約 60 ～ 約 70
F55断層 (津波:大すべり中央)	冬深夜	約 40	約 10 ～ 約 30	約 60 ～ 約 70
	夏12時	約 40	約 10 ～ 約 30	約 60 ～ 約 70
	冬18時	約 40	約 10 ～ 約 30	約 60 ～ 約 70
佐渡島北方沖断層	冬深夜	—	—	—
	夏12時	*	約 10 ～ 約 30	約 20 ～ 約 30
	冬18時	—	—	—

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っている。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(1) 市町村別の災害廃棄物量等：倉吉南方の推定断層：冬 18 時

(万トン)

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	-	*
202 米子市	*	-	*
203 倉吉市	約 40	-	約 40
204 境港市	*	-	*
302 岩美町	*	-	*
325 若桜町	-	-	-
328 智頭町	-	-	-
329 八頭町	-	-	-
364 三朝町	*	-	*
370 湯梨浜町	約 10	-	約 10
371 琴浦町	*	-	*
372 北栄町	*	-	*
384 日吉津村	-	-	-
386 大山町	*	-	*
389 南部町	*	-	*
390 伯耆町	*	-	*
401 日南町	-	-	-
402 日野町	-	-	-
403 江府町	-	-	-
合計	約 50	-	約 50

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(2) 市町村別の災害廃棄物量等：鳥取県西部地震断層：冬 18 時

(万トン)

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	-	*
202 米子市	約 60	-	約 60
203 倉吉市	*	-	*
204 境港市	約 10	-	約 10
302 岩美町	-	-	-
325 若桜町	-	-	-
328 智頭町	-	-	-
329 八頭町	-	-	-
364 三朝町	-	-	-
370 湯梨浜町	*	-	*
371 琴浦町	*	-	*
372 北栄町	*	-	*
384 日吉津村	*	-	*
386 大山町	*	-	*
389 南部町	*	-	*
390 伯耆町	*	-	*
401 日南町	*	-	*
402 日野町	*	-	*
403 江府町	*	-	*
合計	約 70	-	約 70

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(3) 市町村別の災害廃棄物量等：雨滝－釜戸断層：冬 18 時
(万トン)

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	約 10	-	約 10
202 米子市	*	-	*
203 倉吉市	*	-	*
204 境港市	-	-	-
302 岩美町	*	-	*
325 若桜町	*	-	*
328 智頭町	-	-	-
329 八頭町	*	-	*
364 三朝町	-	-	-
370 湯梨浜町	*	-	*
371 琴浦町	-	-	-
372 北栄町	*	-	*
384 日吉津村	-	-	-
386 大山町	-	-	-
389 南部町	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-
401 日南町	-	-	-
402 日野町	-	-	-
403 江府町	-	-	-
合計	約 10	-	約 10

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(4) 市町村別の災害廃棄物量等：鹿野・吉岡断層：冬 18 時
(万トン)

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	約 140	-	約 140
202 米子市	*	-	*
203 倉吉市	*	-	*
204 境港市	*	-	*
302 岩美町	*	-	*
325 若桜町	*	-	*
328 智頭町	*	-	*
329 八頭町	*	-	*
364 三朝町	*	-	*
370 湯梨浜町	*	-	*
371 琴浦町	*	-	*
372 北栄町	*	-	*
384 日吉津村	-	-	-
386 大山町	*	-	*
389 南部町	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-
401 日南町	-	-	-
402 日野町	-	-	-
403 江府町	-	-	-
合計	約 140	-	約 140

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(5) 市町村別の災害廃棄物量等：宍道（鹿島）断層（22km）：冬 18 時
（万トン）

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	-	*
202 米子市	約 10	-	約 10
203 倉吉市	-	-	-
204 境港市	*	-	*
302 岩美町	-	-	-
325 若桜町	-	-	-
328 智頭町	-	-	-
329 八頭町	-	-	-
364 三朝町	-	-	-
370 湯梨浜町	-	-	-
371 琴浦町	-	-	-
372 北栄町	-	-	-
384 日吉津村	*	-	*
386 大山町	*	-	*
389 南部町	*	-	*
390 伯耆町	-	-	-
401 日南町	-	-	-
402 日野町	-	-	-
403 江府町	-	-	-
合計	約 10	-	約 10

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(6) 市町村別の災害廃棄物量等：宍道（鹿島）断層（39km）：冬 18 時
（万トン）

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	-	*
202 米子市	約 20	-	約 20
203 倉吉市	*	-	*
204 境港市	約 20	-	約 20
302 岩美町	*	-	*
325 若桜町	-	-	-
328 智頭町	-	-	-
329 八頭町	-	-	-
364 三朝町	-	-	-
370 湯梨浜町	*	-	*
371 琴浦町	*	-	*
372 北栄町	*	-	*
384 日吉津村	*	-	*
386 大山町	*	-	*
389 南部町	*	-	*
390 伯耆町	*	-	*
401 日南町	-	-	-
402 日野町	-	-	-
403 江府町	-	-	-
合計	約 40	-	約 40

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(7) 市町村別の災害廃棄物量等：F55 断層（津波：大すべり右側）：冬 18 時
(万トン)

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	* ~ 約 10	約 10 ~ 約 10
202 米子市	約 20	* ~ *	約 20 ~ 約 20
203 倉吉市	*	- ~ -	* ~ *
204 境港市	約 10	* ~ 約 10	約 10 ~ 約 20
302 岩美町	*	* ~ *	* ~ *
325 若桜町	*	- ~ -	* ~ *
328 智頭町	-	- ~ -	- ~ -
329 八頭町	*	- ~ -	* ~ *
364 三朝町	*	- ~ -	* ~ *
370 湯梨浜町	*	* ~ *	* ~ *
371 琴浦町	*	* ~ *	* ~ *
372 北栄町	*	* ~ *	* ~ *
384 日吉津村	*	* ~ *	* ~ *
386 大山町	*	* ~ *	* ~ *
389 南部町	*	- ~ -	* ~ *
390 伯耆町	*	- ~ -	* ~ *
401 日南町	-	- ~ -	- ~ -
402 日野町	-	- ~ -	- ~ -
403 江府町	*	- ~ -	* ~ *
合計	約 40	約 10 ~ 約 20	約 60 ~ 約 70

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(8) 市町村別の災害廃棄物量等：F55 断層（津波：大すべり左側）：冬 18 時
(万トン)

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	* ~ 約 10	約 10 ~ 約 10
202 米子市	約 20	* ~ *	約 20 ~ 約 20
203 倉吉市	*	- ~ -	* ~ *
204 境港市	約 10	約 10 ~ 約 10	約 10 ~ 約 20
302 岩美町	*	* ~ *	* ~ *
325 若桜町	*	- ~ -	* ~ *
328 智頭町	-	- ~ -	- ~ -
329 八頭町	*	- ~ -	* ~ *
364 三朝町	*	- ~ -	* ~ *
370 湯梨浜町	*	* ~ *	* ~ *
371 琴浦町	*	* ~ *	* ~ *
372 北栄町	*	* ~ *	* ~ *
384 日吉津村	*	* ~ *	* ~ *
386 大山町	*	* ~ *	* ~ *
389 南部町	*	- ~ -	* ~ *
390 伯耆町	*	- ~ -	* ~ *
401 日南町	-	- ~ -	- ~ -
402 日野町	-	- ~ -	- ~ -
403 江府町	*	- ~ -	* ~ *
合計	約 40	約 10 ~ 約 30	約 60 ~ 約 70

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(9) 市町村別の災害廃棄物量等：F55 断層（津波：大すべり中央）：冬 18 時
（万トン）

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	* ~ 約 10	約 10 ~ 約 10
202 米子市	約 20	* ~ *	約 20 ~ 約 20
203 倉吉市	*	- ~ -	* ~ *
204 境港市	約 10	約 10 ~ 約 10	約 10 ~ 約 20
302 岩美町	*	* ~ *	* ~ *
325 若桜町	*	- ~ -	* ~ *
328 智頭町	-	- ~ -	- ~ -
329 八頭町	*	- ~ -	* ~ *
364 三朝町	*	- ~ -	* ~ *
370 湯梨浜町	*	* ~ *	* ~ *
371 琴浦町	*	* ~ *	* ~ *
372 北栄町	*	* ~ *	* ~ *
384 日吉津村	*	* ~ *	* ~ *
386 大山町	*	* ~ *	* ~ *
389 南部町	*	- ~ -	* ~ *
390 伯耆町	*	- ~ -	* ~ *
401 日南町	-	- ~ -	- ~ -
402 日野町	-	- ~ -	- ~ -
403 江府町	*	- ~ -	* ~ *
合計	約 40	約 10 ~ 約 30	約 60 ~ 約 70

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入

表 6.2-15(10) 市町村別の災害廃棄物量等：佐渡島北方沖断層：冬 18 時
（万トン）

市町村	災害廃棄物	津波堆積物	計
201 鳥取市	*	* ~ 約 10	* ~ 約 10
202 米子市	*	* ~ *	* ~ *
203 倉吉市	-	- ~ -	- ~ -
204 境港市	*	約 10 ~ 約 10	約 10 ~ 約 10
302 岩美町	*	* ~ *	* ~ *
325 若桜町	-	- ~ -	- ~ -
328 智頭町	-	- ~ -	- ~ -
329 八頭町	-	- ~ -	- ~ -
364 三朝町	-	- ~ -	- ~ -
370 湯梨浜町	*	* ~ *	* ~ *
371 琴浦町	-	* ~ *	* ~ *
372 北栄町	-	* ~ *	* ~ *
384 日吉津村	-	* ~ *	* ~ *
386 大山町	*	* ~ *	* ~ *
389 南部町	-	- ~ -	- ~ -
390 伯耆町	-	- ~ -	- ~ -
401 日南町	-	- ~ -	- ~ -
402 日野町	-	- ~ -	- ~ -
403 江府町	-	- ~ -	- ~ -
合計	*	約 10 ~ 約 30	約 20 ~ 約 30

*：数万トン -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。
・1,000未満：1の位を四捨五入